

管用ねじの種類

管用ねじは、大きく分けると「管用テーパねじ」と「管用平行ねじ」の2種類です。更にそれぞれ雌雄があり、おねじ（外側にねじが付いているもの）とめねじ（内側にねじが付いているもの）を組み合わせて使用します。各種の役割と規格を見ていきましょう。

管用テーパねじ とは



円錐形のねじで、先端に行くほど細くなります。規格番号はJIS B0203。水密性・気密性が高く、適正なトルクでねじ込むとがっちり密着するため、水道管や真空配管などの配管に使用されるものです。

おねじをISO規格で「R」（旧JIS規格ではPT）、めねじをISO規格で「Rc」（旧JIS規格ではPT）と表し、この記号にサイズを付け加えて「R1/8」などと呼びます。

通常は「R」と「Rc」を組み合わせて使用するのですが、テーパおねじに対して平行めねじを組み合わせる場合、ISO規格で「Rp」（旧JIS規格ではPS）で表される平行めねじを使用しましょう。「Rp」は管用平行ねじとは寸法許容差が異なり、別物として扱われるので注意が必要です。

管用平行ねじ とは



円筒形のねじで、先端まで均一の太さ（平行）になっています。規格番号はJIS B0202。主に機械部品の接合などに使用されるものです。

おねじ・めねじ共にISO規格で「G」（旧JIS規格ではPF）と表し、更にサイズを付け加えます。おねじの場合はサイズの後に、更に有効径の許容差による等級「A」もしくは「B」を付け加えるので、「G1/4B」などと呼びます。

ねじの種類		ISO規格	旧JIS規格	規格番号
管用テーパねじ (水密、気密を必要とする部分)	テーパおねじ	R	PT	JIS B0203
	テーパめねじ	Rc	PT	
	平行めねじ	Rp	PS	
管用平行ねじ (機械的接合を主目的とする部分)	管用平行おねじ	G (A) (B)	PF	JIS B 0202
	管用平行めねじ	G	PF	